

九州大学×西日本高速道路 第8回連携推進会議

幹事会（第4回）

○日 時： 9月20日（火曜日）16：00～17：30

○場 所： NEXCO 西日本 九州支社 6F 副室

○出席者： 計9名

・九州大学：三谷泰浩、佐川康貴、板井麻里子

・西日本高速道路：野田主馬、栗山達哉、赤木渉、北畑雅義、
濱崎智洋、永野哲平

■議題

（1）第8回技術シンポジウムの開催

- 1）当日スケジュール・担当別作業内容
- 2）会場レイアウト
- 3）司会シナリオ
- 4）技術シンポジウム開催までの工程

（2）各事業日程調整

- 1）現場見学会
- 2）特別講義

（3）ホームページ制作状況

（4）その他

- 1）次回 幹事会開催日

第8回 技術シンポジウム スタッフ関係者行動予定表

H28.9.20

[illegible]

◆準備物

九大...

- ☐ PC 2台(講演者・予備)
- ☐ 投影PPT一式
- ☐ 講演PPT
- ☐ 事務局PPT
- ☐ CPD認定書
- ☐ 講演者リボン 7個
- ☐ 着用願い案内
- ☐ スタッフ腕章 40個
- ☐ 受付名簿
- ☐ 昼食会 配布資料一式
- ☐ 封筒
- ☐ 配布冊子(当日)一式
- ☐ 司会シナリオ
- ☐ ホール控室図面
- ☐ 会場座席図
- ☐ 懇親会案内(講演者用)

NEXCO...

- ☐ PC 2台(事務局PPT)
- ☐ 掲示用ポスター
- ☐ ビデオカメラ

エンジ...

- ☐ アンケート用紙
- ☐ アンケート回収BOX
- ☐ スタッフ用資料(行動予定)
- ☐ 案内表示紙
- ☐ タクシーチケット
- ☐ 懇親会案内(委員、スタッフ用)
- ☐ ストップウォッチ

- ☐ カメラ
- ☐ PPTポインター
- ☐ 記帳用ペン
- ☐ 記帳用紙
- ☐ カッター
- ☐ はさみ
- ☐ テープ

◆配達物

- ☐ 当日配布資料
- ☐ 弁当
- ☐ お茶

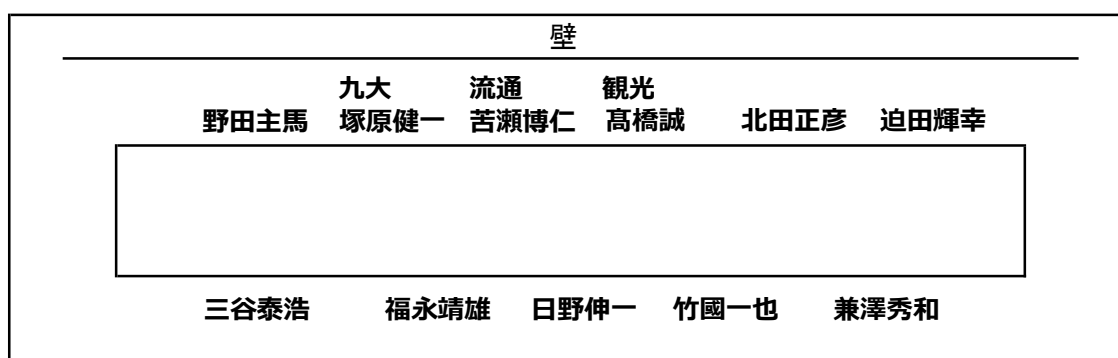
- ☒ 手配済み
☐ 手配予定

◆昼食

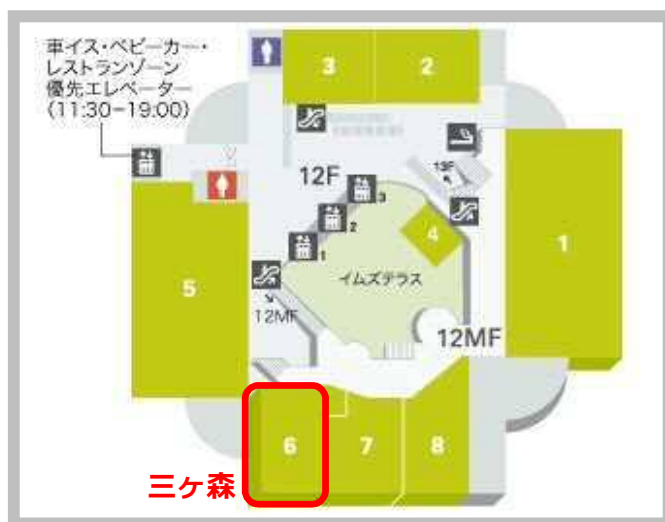
■講演者との昼食会

- 1) 時 間: 11:30 ~ 12:30 ※現地集合
- 2) 場 所: 日本蕎麦&鉄板ダイニング ミヶ森 (天神イムズ 12F)
福岡市中央区天神1-7-11 tel: 092-721-0892
- 3) 出席者: 11名
- 4) 予約名: 九州大学
- 5) 配布資料: ①配布冊子 ②聴講者リスト ③司会シナリオ
④ホール・控室図面 ⑤会場内座席図 ⑥懇親会案内図
- 6) 座席配置(案):

※個室ではなく、オープンな席です



7) 天神イムズ12F フloor図



■スタッフ弁当

- 1) 個 数: 16名(別紙 当日の動き参照)
- 2) 注文先: 株式会社 マンジャ
- 3) 配達時間: 11時・・・板井宛
- 4) スタッフ控室にて適宜食事する
⇒ 空き箱は業者回収(配達時、回収時間設定)

■九大・学生スタッフ

メンバー： 貝沼准教授、佐川准教授、畠山助教、学生
担当： 設営、受付、質疑マイク、撤去
班割： 学生スタッフ8名： ①2名、②2名、③4名の3班構成
控室： バックヤード控室

(1)11:00 集合 全体打合せ後、設営開始

・スタッフ腕章を付ける

■畠山助教、1班、2班

・ホール入口、控室から、必要備品をホワイエへ移動、設置させる

⇒ 受付：机×3、椅子×6

・受付ブースごとに、資料を準備

⇒ 配布資料をセット(チラシ、アンケートを挟む)

⇒ 事前申込者一覧の受付票

・記帳スペースに、受付用紙、ペンを準備

■貝沼准教授、3班

・案内表示を貼る

⇒ ホール事務所前に置いてある磁石を使用

⇒ 聴講受付： 受付後方の壁へ貼付

⇒ マスコミ受付： 受付後方の壁へ貼付

⇒ 講演者控室： 控室扉に貼付

⇒ NEXCOスタッフが持参するポスターをパーテーションへ貼付

⇒ ホール前、ホワイエ等に設置

・講演者控室に椅子が必要であれば、スタッフ控室から移動させる

・スタッフ控室を控室として使えるよう、机、椅子を並べる。

■佐川准教授、山縣さん

・挨拶者、講演者の会場座席に、備品をセットする

⇒ ①リボン胸章 ②指定席氏名(胸章着用の案内記載)

・その後は司会のリハーサルや最終打合せを実施

(2)設営完了後、適宜昼食をとる ……12:45には受付へスタンバイができるように

・先生3名、司会はお弁当を準備

(3)12:45 各自スタンバイ

・班ごとに受付、質疑応答マイク、タイムキーパーを担当する

⇒ 1班： 休憩前 講演2本 ……12:45 会場で待機

⇒ 2班： 休憩後 講演2本

⇒ 3班： 受付

⇒ 時間のあるときは会場で聴講

・2班、3班は、受付で配置につく

(4)13:00 受付開始

・業種別の受付は実施しない

・参加証、または名刺と交換で配布資料(アンケート含)を渡す

⇒ 参加証忘れは、名刺でも受付可 ……この案内はNEXCOスタッフが行う

⇒ 受付をしながら、申込者リストとのチェックはしない

(5)13:30 開演

■受付(3班)

・マスコミ対応として、休憩前に一度、聴講者集計を行う

⇒ マスコミからの問合せは、NEXCO広報 松本課長へ引き継ぐ

■質疑マイク

・ステージ向かって左側、右側に1人ずつ着席

・基本的に質疑応答は設けない

⇒ 時間に余裕があった場合は行う

(6)15:05～15:25 休憩

・3班がそのまま受付対応

⇒ 2班は質疑マイクを1班から引き継ぐ

(7)15:25 第二部開始 ～ 17:00 閉会

… 受付と閉会後に向けた作業を並行

■受付

・受付対応の間を見て、聴講者の集計や申込者リストとのチェックを行う

・CPD参加証名書配布の準備(技術シンポジウム閉会後に配布)

⇒ 16:50 受付に学生スタッフ2名がスタンバイ

・撤去に向けて、受付周りの整理

⇒ 受付、記帳スペースの縮小

⇒ アンケート回収BOX(机上)の設置

⇒ CPD配布場所と離れたところに設置する

⇒ 残った資料、備品を1箇所にまとめる

・アンケート回収BOX、CPD配布の案内表示をする

■質疑マイク

・ステージ向かって左側、右側に1人ずつ着席

・基本的に質疑応答は設けない

⇒ 時間に余裕があった場合は行う

(8) 17:10頃(聴講者が退場したところを目途)～ 撤去

・・・貝沼准教授、佐川准教授は懇親会へ

■1班、2班、畠山助教

- ・設営時に持ってきたもの(机、椅子)を元の位置に戻す
- ・記帳場所に、リボン胸章、スタッフ腕章の回収BOXを設置
⇒ アンケート回収BOXを流用

■3班、山縣さん

- ・貼付した案内表示、ポスターをすべてはがす
- ・講演者が懇親会へ移動後、講演者控室に椅子を追加した場合は元に戻す

(9) 撤去完了

■山縣さん、学生スタッフ

- ・撤去完了、控室の原状復旧後、解散

■畠山助教

- ・全控室、ホワイエ、会場内等、ホール全体の撤去完了、復旧を確認
- ・学生スタッフ解散後、懇親会へ移動

※備品等について

- ・九大PC2台: ①三谷研PC ⇒ 学生へ返却 ②板井PC ⇒ 板井持ち帰り
- ・会場に預けられないので、すべて持ち帰り

※忘れ物があった場合

⇒ 会場預かりが可能か、会場側と要相談

●NEXCOスタッフ

担当： 案内、誘導、広報、事務局PC、ビデオ、カメラ

※カメラは、設営～開演中撮影

控室： バックヤード控室

(1)11:00 集合(PC、広報担当)

●高戸代理、永野氏

・到着次第、準備に取り掛かる

・PC機器の接続、データ確認

⇒ 九大2台、NEXCO2台のうち、3台をセットする

⇒ 講演者×1、事務局用×2

⇒ 1台は予備

⇒ データ内容を確認

⇒ 投影切替によって格納データを分けることも可(お任せします)

・セット完了後、控室で適宜昼食

・・・12:40会場待機

●松本課長

・スタッフ腕章着用

(2)12:00 集合

●白松氏、津下氏

・ビデオの設置

・聴講者席へ、関係者席等の案内紙を配置

⇒ 氏名あり： 挨拶者、講演者、他

⇒ 固定席： マスコミ、国交省、経済連

⇒ 関係者席： 上記以外スタッフ

●栗山課長、赤木調査役、北畑課長、濱崎課長、松山調査役

・配置場所の確認

⇒ 会場入口、受付前、聴講者席への案内

⇒ 東九州道リーフレットの座席配布

(3)～12:40頃

・各自準備終了後、適宜昼食

・・・お弁当は、控室に置いておきます

⇒ 控室

⇒ 会場内飲食可

・・・会場要確認

⇒ 弁当空き箱は、元の位置に置く

(4)13:00 受付開始

・PC担当以外のスタッフは、受付ロビー、会場内で各自配置

●松本課長

- ・マスコミが受付するブースで待機
⇒ マスコミが来たら、マスコミ席へ案内

●北畑課長、濱崎課長

- ・会場入口付近で案内

●栗山課長、松山調査役

※誘導は、必要に応じてホール全体の案内も行う

- ・受付ロビーで、参加証忘れの方へ対応
⇒ 参加証持参・・・受付へ
⇒ 参加証忘れ、当日参加 ⇒ 名刺をお持ちの方は受付へ
⇒ 名刺のない方は記帳スペースへ

●赤木調査役、白松氏

- ・会場内での誘導
⇒ 指定席、範囲席のある方(座席表をお持ちの方)の誘導

(5)13:25 開演直前

●津下氏

- ・ビデオ撮影開始

(6)13:30 開演 ～17:00 閉会

- ・聴講者の入場が落ち着いたら、会場で聴講する

●松本課長

- ・引き続き、マスコミ対応

●高戸代理、永野氏

- ・進行に合わせて、挨拶、講演者紹介等のスライド投影、PC切替
- ・演台PCで、講演者の発表資料を表示させる
- ・必要があれば、マイクの高さ変更をする(マイクを手を持つ方がいるかもしれません)

●野田課長

- ・講演者へ登壇の合図を行う

(7)17:10頃(聴講者が退場したところを目途)～ 撤去

- ・スタッフ腕章を回収BOXへ返却
⇒ 記帳場所へBOX設置済

●高戸代理、永野氏

- ・PCの撤去
⇒ 九大PCは学生スタッフへ返却
⇒ 撤去が完了次第、懇親会へ移動

●NEXCO幹事

- ・リボン胸章回収
- ・聴講席に置いた指定席等の案内紙が残っていれば撤去
- ・会場内のゴミ、忘れ物確認
 - ⇒ 終了次第、懇親会会場へ向かう

※忘れ物があった場合

- ⇒ 会場預かりが可能か、会場側と要相談

(8)撤去完了

- ・撤去完了後、懇親会会場へ移動

◆ステージレイアウト

■挨拶、講演



■マイク：計4本

総合司会者： 有線×1
挨拶者・講演者： ワイヤレス×1 ⇒ 常に演台上設置
質疑マイク ワイヤレス×2 ⇒ 学生スタッフ

■待機人員

・司会側

司会補助 ⇒ 佐川先生
質疑応答マイク① ⇒ 九大学生スタッフ

・演者側

PC動作係 ⇒ NEXCOスタッフ
質疑応答マイク② ⇒ 九大学生スタッフ

◆パソコン操作

■PC持ち込み

⇒ 九大PC2台 NEXCO2台 計4台

■PC操作

⇒ 講演中は講演者が操作する

⇒ その他(挨拶、休憩等)は上座(向かって右側)の最前列で、NEXCOスタッフが切替

■切替器からのケーブルは主催者側で準備する

◆投影PPT（事務局）

①開場～開演(13:00～13:30)

■内容： ・全体プログラム
・携帯電源OFFまたはマナーモードのお願い

②休憩(15:05～15:25)

■内容： ・休憩後のプログラム
・休憩・喫煙場所の表示

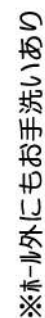
③全体終了後

- 内容：
- ・CPD認定書配布
 - ・アンケート記入、回収BOXへ投函のお願い
 - ・御礼の言葉

◆その他

■お茶

- ・講演者、スタッフ用にペットボトルのお茶を準備
- ・講演者用は座席へ置く
- ・スタッフ用はスタッフ控室へ置く
- ・開演前、休憩中の控室お茶出しは、ペットボトルお茶で対応
⇒ お湯のみは給湯室に備品あり



※喫煙は12F

Place : IMS 9F イムズホール

Scale : 1:150 (A3)

フィック	開始時間	発言者	司会位置	コメント内容	持ち時間	投影PC
	13:25	司会	舞台左袖	まもなく、技術シンポジウム「はじまる・ひろがる・めぐる 九州の高速道路・新時代」を開始いたします。 開会に先立ち、ご来場のみなさまに注意事項を申し上げます。 まず、お手持ちの携帯電話はマナーモードに設定していただくか、電源をお切りいただきますようお願いいたします。 また、入場の際 受付でお渡しした資料の中に アンケートがありますので、アンケートのご協力をお願いいたします。 ご記入いただいたアンケートは、お帰りの際に、受付のアンケート回収箱にご投函ください。 【もし、席に余裕があるようであれば！】 本日は多数の方のご出席が予定されておりますので、前の方から順にお座りくださいますよう、お願いいたします。	1	事務局
	13:30	司会	壇上	【ステージに上がる】 本日は、九州大学・西日本高速道路株式会社 共催 技術シンポジウム「はじまる・ひろがる・めぐる 九州の高速道路・新時代」にご参加頂き まことにありがとうございます。 わたくし、司会の『九州大学 山縣芙美（やまがた ふみ）』と申します。 それでは、ただいまより、技術シンポジウム『はじまる・ひろがる・めぐる 九州の高速道路・新時代』を開催いたします。 まず、開会にあたり、主催者を代表し、九州大学 副学長の日野伸一（ひの しんいち）より挨拶を行ないます。 【日野先生紹介スライド表示】 それでは、日野先生よろしくお願いします。 【舞台袖に下りる】	1	事務局
	13:31	日野先生	舞台左袖	～開会挨拶～	4	事務局
	13:35	司会	壇上	【ステージに上がる】 日野先生ありがとうございました。それでは、第一部を開始いたします。 まず始めに、流通経済大学 流通情報学部 教授 苦瀬博仁（くせ ひろひと）さまより 『ロジスティクスを支えるインフラの役割 一物流の歴史の変遷と、これからの課題一』 と題し、ご講演いただきます。 【苦瀬さま紹介スライド表示】 【野田課長：登壇の合図、永野氏：演台PCで資料表示】 ここで、苦瀬さまの経歴を簡単にご紹介いたします。 苦瀬さまは、早稲田大学大学院 博士課程修了後、日本国土開発株式会社を経て、のちに東京海洋大学となる、東京商船大学で2014年3月まで教授を務められました。2014年4月より現職でございます。2011～2015年には、日本物流学会 会長を務められました。 それでは、苦瀬さま よろしくをお願いいたします。 【舞台袖に下りる】 【PC切替】	1	事務局
	13:36	苦瀬さま	舞台左袖	～講演～	59	壇上
	14:35	司会	壇上	【苦瀬さま終了発言と同時にステージに上がる】 苦瀬さま、ありがとうございました。もう一度、拍手をお願いします。 【苦瀬さまが舞台から降りられたことを確認】 続きまして、一般社団法人 九州観光推進機構 専務理事 事業本部長 高橋 誠（たかはし まこと）さまに『広域観光と交通インフラについて』 と題し、ご講演をいただきます。 【高橋さま紹介スライド表示】 【野田課長：登壇の合図、永野氏：演台PCで資料表示】 ここで、高橋さまの経歴を簡単にご紹介いたします。 高橋さまは日本国有鉄道九州総局入社後、九州旅客鉄道株式会社 営業部 販売課主席、ソウル駐在員 事務所長、営業本部 商品企画課長、佐賀駅長、小倉駅長を歴任されたあと、九州観光推進機構 事業本部副本部長を経て、2014年5月より現職でおられます。 それでは、高橋さま、よろしくお願いします。 【舞台袖に下りる】 【PC切替】	1	事務局
	14:36	高橋さま	舞台左袖	～講演～	29	壇上

フィック	開始時間	発言者	司会位置	コメント内容	持ち時間	投影PC
	15:05	司会		【高橋さまの終了発言と同時にステージに上がる】 高橋さま ありがとうございます。もう一度、拍手をお願いします。 【高橋さまが舞台から降りられたことを確認】 【PC切替、アナウンスに合わせて休憩後開始スライド表示】 これで第一部を終了いたします。 約20分の休憩をはさみ、第二部は15:25（※時間変更の可能性あり）から行います。 開始時間までにご着席ください。 おタバコは、所定の場所で喫煙をお願いいたします。 また、休憩中にアンケートのご協力をお願いいたします。 【舞台袖に下りる】	1	事務局
	15:06		舞台左袖	～休憩時間～ 事務局PCで、適宜スライド表示	18	事務局
	15:24	司会	舞台左袖	【PC切替】 まもなく、第二部を開始いたしますので、ご着席願います。 ここで、今一度、ご来場のみなさまに注意事項を申し上げます。 お手持ちの携帯電話はマナーモードに設定していただくか、電源をお切りいただきますようお願いいたします。	1	事務局
	15:25	司会	壇上	【ステージに上がる】 予定の時間となりましたので、これより第二部を始めさせていただきます。 まず、九州大学大学院 工学研究院 教授 塚原健一（つかはら けんいち）より、『九州地域のレジリエンスーインフラ整備・維持管理の視点から』と題し、講演いたします。 【塚原先生紹介スライド表示】 【野田課長：登壇の合図、永野氏：演台PCで資料表示】 ここで、塚原先生の経歴を簡単にご紹介いたします。 塚原先生は、九州大学 工学部土木工学科 卒業後、建設省へ入省されました。その後、外務省在インドネシア 日本大使館 一等書記官、アジア開発銀行 政策局 政策計画官、リバーフロント整備センター 研究第一部長、独立行政法人 国際協力機構 シニアアドバイザーなどを経て現職でございます。 それでは、塚原先生 よろしく願いいたします。 【舞台袖に下りる】 【PC切替】	1	事務局
	15:26	塚原先生	舞台左袖	～講演～	59	壇上
	16:25	司会	壇上	【塚原先生終了発言と同時にステージに上がる】 塚原先生、ありがとうございます。もう一度、拍手をお願いします。 【塚原先生が舞台から降りられたことを確認】 続きまして、西日本高速道路株式会社 執行役員・九州支社長 北田正彦（きただ まさひこ）さまに『九州の高速道路について』と題し、ご講演をいただきます。 【北田さま長紹介スライド表示】 【野田課長：登壇の合図、永野氏：演台PCで資料表示】 ここで、北田さまの経歴を簡単にご紹介いたします。 北田さまは日本道路公団へ入社後、四国支社 保全部 保全企画課長、高知工事事務所長を務められ、日本道路公団の民営化においては、西日本会社移行本部 広報室長として尽力されました。その後、本社 秘書広報部長、関西支社 建設事業部長、本社 広報部長、保全サービス事業部長を経て、2015年6月より現職でおられます。 それでは、北田さま、よろしく願いいたします。 【舞台袖に下りる】 【PC切替】	1	事務局
	16:26	北田さま	舞台左袖	～講演～	29	壇上
	16:55	司会	壇上	【北田さまの終了発言と同時にステージに上がる】 北田さま ありがとうございます。もう一度、拍手をお願いいたします。 【北田さまが舞台から降りられたことを確認】 【PC切替、アナウンスに合わせて竹園部長紹介スライド表示】 本日の講演は以上でございますが、今しばらく席にてお待ちください。 最後に、西日本高速道路株式会社 技術本部・技術環境部長 竹園一也（たけくに かずや）より閉会の挨拶を行います。 それでは竹園さま よろしく願いいたします。 【舞台袖に引く】	1	事務局

フィク	開始 時間	発言者	司会 位置	コメント内容	持ち 時間	投影 PC
	16:56	竹國部長	舞台 左袖	～閉会挨拶～	4	事務局
	17:00	司会	壇上	【ステージに上がる】 竹國さま ありがとうございました。 【竹國さまが舞台から降りられたことを確認】 【アナウンスに合わせてPCスライド表示】 最後に会場のみなさまへお願いです。 入場の際に受付でお渡しした資料の中にアンケートがありますので、アンケートのご協力をお願いいたします。 ご記入いただいたアンケートは、お帰りの際に、受付のアンケート回収箱にご投函ください。 また、当シンポジウムは土木学会よりCPDプログラムの認定を受けております。参加証明書をご希望の方は、 受付でお配りしておりますので、アンケートをご提出後、スタッフよりお受け取り下さい。 これをもちまして、九州大学・西日本高速道路株式会社 共催 技術シンポジウム「はじまる・ひろがる・めぐる 九州の高速道路・新時代」を終了させていただきます。 長時間にわたり、ありがとうございました。 お帰りの際は、お忘れ物のないようお願いいたします。 【野田課長、三谷先生：司会者の終了案内後、関係者を控室へ誘導する】	1	事務局

技術シンポジウム開催までの工程

H28.9.20時点

資料 1 - 4

作業	状況	6月		7月			8月				9月				10月				備考 担当・完了時期の目途		
		20	30	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20		31	
幹事会の実施(技術シンポジウム)		●				●			●				●			●					
シンポジウムテーマ	済	●																			
シンポジウム開催日	済	●																			
会場予約	済	●																			
講演時間の決定	済	←→																			
講演者の決定(開会・閉会の挨拶、司会)	済	←→					-----→														
講演者へ委任状送付	済					←→					-----→									講演者が決定次第、作成・送付(板井)	
共催・後援手続き						←→					-----→									講演者、プログラムが決定次第、取りかかる (手続き:板井、依頼:九大幹事) ⇒ 8月上旬完了目途 ⇒ 9月初旬完了、九地整:手続き中	
CPD申請手続き	済					←→															
ポスター・チラシ 材料収集	済					←→					-----→									講演者略歴作成(板井) ⇒ 8月中旬完了 ⇒ 9/11完了	
ポスター・チラシ データ制作	済							←→					-----→								原稿作成(板井) ⇒ 8月幹事会提示後、メール審議、8月下旬完了 ⇒ 9/15完了
ポスター・チラシ 印刷												↔								プレスリリースに合わせて配布できるよう納品 ⇒9月初旬入稿★必須 ⇒ 9/20入稿	
九大・NEXCOプレスリリース リーフレット制作												↔									
九大・NEXCOプレスリリース														★-----★						9月中旬～10月初旬 ⇒ 九大と日程調整中、九大と併せてNEXCOリリース？	
応募開始・参加証返信															←→					板井 ⇒ チラシ配布開始に伴い、随時 ⇒ 1週間前✕切、状況確認	
ランチミーティング設定	済							←→													
講演者への連絡 (資料依頼、謝金、当日工程)	済							←→					←→								講演依頼時アナウンス、手続き・書面連絡:板井 チラシ素材 ⇒ 8月末✕ 配布・発表資料依頼 ⇒9月・10月提出✕ ⇒ 配布:10/6、発表:10/20✕ (講演者へ配布要望確認しながら)
講演者からの発表・印刷資料取りまとめ												←→					←→				取りまとめ(板井) 配布:10/6提出✕ ⇒ 10月中旬入稿、 発表PPT:10/20提出✕
配布資料作成・印刷																←→				会場へ納品 ⇒ 開催3日前	
CPD参加証明書の作成																←→				板井 ⇒ 10月中旬完了	
会場との打合せ																◎				板井 ⇒ 開催1ヶ月前に実施	
スタッフ資料の作成								←→					←→								スタッフ人数の決定、司会のシナリオ同時作成(板井) ⇒ 10月幹事会で周知
会場備品の最終決定																	←→				
技術シンポジウム開催																				★	
共催・後援機関への報告書作成																				技術シンポジウム終了後、作成提出	

※着色: 次回幹事会までの完了事項
 次回幹事会で状況報告
 進捗遅延

| ホーム

| 技術シンポジウム

| 道路工学実践教室

| 特別講義

| 共同研究

| 交流



九州大学とNEXCO西日本は、2009年9月に包括連携協定を締結。
大学が持つ基礎研究成果と市場志向の技術経営力を結合し、新規技術開発および人材育成において産学連携を推進しています。

ごあいさつ



新着情報

▶ 2016年8月30日

[第8回技術シンポジウムを開催します。](#)

▶ 2016年5月30日

[これはテストです。これはテストです。...](#)

お問い合わせ

福岡県福岡市西区元岡744

tel:092-802-3893

fax:092-802-3391

e-mail:

m_ital_a@doc.kyushu-u.ac.jp

シンポジウム参加申し込み

**九州大学**
KYUSHU UNIVERSITY**NEXCO**
西日本



技術シンポジウム

Contents

- > 第7回「九州の発展と交通インフラ」
- > 第6回「社会インフラを守る」
- > 第5回「関門橋。40年の歴史とこれから」
- > 第4回「社会インフラの防災と危機管理を考えるPart2」
- > 第3回「社会インフラの防災と危機管理を考える」
- > 第2回「未来につなぐ九州の道」
- > 第1回「100年をつなぐイノベーション」

■ 第7回「九州の発展と交通インフラ」

九州の交通インフラは、今年で全線開通20周年を迎えた九州自動車道や、平成23年3月に全線開通した九州新幹線鹿児島ルートなど整備が進みました。整備された交通インフラは様々なストック効果を発揮しており、交通インフラ整備の進展とともに九州の経済も大きく発展してきました。

本シンポジウムでは、これまで整備してきた交通インフラのストック効果を最大限に発揮すべく、交通インフラをどのように活用すべきか、九州のさらなる発展を目指すには何が必要なのか、活発な議論を行いました。

Ⅱ 概要

- ・日 時 平成27年10月27日(火) 13:00-17:00
- ・場 所 JR博多シティ9F JR九州ホール（福岡市博多区博多駅中央街1-1）
- ・主 催 九州大学
- ・共 催 西日本高速道路株式会社
- ・後 援 国土交通省 九州地方整備局、（公社）土木学会西部支部、（公社）地盤工学会九州支部、（一社）九州橋梁・構造工学研究会、九州旅客鉄道㈱

Ⅱ プログラム

13:00～13:05 開会／挨拶

□ 第一部 基調講演（90分）

『九州の交通における現状と課題』

13:05～13:50 大枝 良直（九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 准教授）

『設備投資計画に見る、九州経済の発展性』

13:50～14:35 青木 崇（㈱日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長）

14:35～14:55 休憩

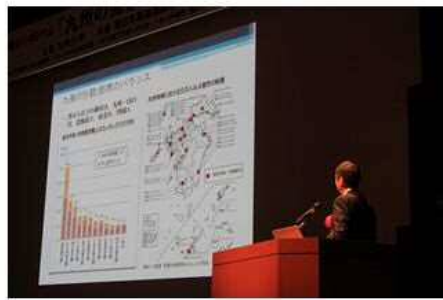
□ 第二部 パネルディスカッション（120分）

14:55～16:55 『九州のさらなる発展を目指した交通インフラの有効活用』

- ・コーディネーター
三谷泰浩（九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 教授）
- ・パネリスト 6名
土井弘次（国土交通省 九州地方整備局 道路部長）
青木 崇（㈱日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長）
高橋 誠（一般社団法人 九州観光推進機構 専務理事 事業本部長）
渡邊 太志（九州旅客鉄道㈱ 鉄道事業本部営業部 担当部長）
福永靖雄（西日本高速道路㈱九州支社 保全サービス事業部長）
大枝良直（九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 准教授）
- ・シナリオ
九州の特徴、魅力
九州のインフラ整備による効果
交通インフラを有効活用する取組み
さらなる発展に向けた取組み

16:55～17:00 閉会／挨拶

（敬称略）



ポスター・チラシ

第6回「社会インフラを守る」

高度経済成長期に建設された構造物は老朽化が進行し、修繕を必要とする構造物は増加していく一方です。また、平成25年は、メンテナンス元年とも位置づけられ、道路法等の一部改正によって、構造物の点検方法や頻度が定められました。

技術者にとって維持管理や修繕は、これまで以上に重要課題となっております。

現在、どのようにメンテナンスが実施されているか、メンテナンスに必要な技術は何か。各業界の事例を紹介しながら技術者の技術交流の場になるよう、シンポジウムを開催いたしました。

概要

- ・日 時 平成26年10月27日(月) 13:00-17:30
- ・場 所 (公財) アクロス福岡 地下2階 イベントホール (福岡市中央区天神1-1-1)
- ・主 催 九州大学
- ・共 催 西日本高速道路株式会社
- ・後 援 国土交通省 九州地方整備局、福岡県、福岡市、(公社) 土木学会西部支部、(公社) 地盤工学会九州支部、(公社) コンクリート工学会九州支部、(一社) 九州橋梁・構造工学会、(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部

プログラム

13:00~13:05 開会

□ 第一部「九州大学とNEXCO西日本 産学連携の歩み」

『九州大学とNEXCO西日本 産学連携の歩み』

13:05~13:25

日野 伸一 (九州大学副学長・大学院工学研究院教授)

『高速道路技術伝承と壬子会技術者の足跡』

13:25~14:25

前田 良刀 (九州大学連携教授・㈱ドーユー大地 代表取締役社長)

14:20~14:40 休憩

□ 第二部「社会インフラのメンテナンス」

『JR西日本における鉄道土木構造物の維持管理』

14:40~15:10

村田 一郎 (㈱レールテック 取締役 構造物事業部長)

『種子島宇宙センターとその設備保全について』

15:10~15:40

小林 清 (独法) 宇宙航空研究開発機構 宇宙輸送ミッション本部
射場技術開発室 技術領域リーダー)

『維持管理の現況と事例紹介』

15:40~16:10

渡邊 芳弘 (西日本高速道路㈱) 九州支社 保全サービス事業部 保全第二課長)

16:10~16:25 休憩

『コンクリート橋の凍結防止剤による塩害の現状と補修方法について』

16:25~16:55

佐川 康貴 (九州大学大学院 工学研究院 准教授)

『産学学際研究による新技術開発の紹介』

16:55~17:25

貝沼 重信 (九州大学大学院 工学研究院 准教授)

17:25~17:30 閉会

(敬称略)



ポスター・チラシ

■ 第5回「関門橋、40年の歴史とこれから」

本州と九州を結ぶ関門橋は、昭和48年11月に完成し今年40年を迎え、これまで二つの「架け橋」の役割を果たしてきた。

一つは、関門海峡を渡る九州の社会・経済活動に欠かせない大動脈としての「架け橋」であり、もう一つは、当時の我が国の最先端の橋梁技術と経験を関門橋建設に活かし、世界最高水準の本四架橋建設に結び付けた技術の「架け橋」である。

本技術シンポジウムでは、関門橋がこれまで40年間に亘って社会インフラとして果たしてきた役割を振り返るとともに、未来への「架け橋」としてのこれからを考える。

概要

- ・日 時 平成25年10月31日（木曜日）13:00～17:00
- ・場 所 北九州国際会議場 メインホール（北九州市）
- ・主 催 九州大学
- ・共 催 北九州市、西日本高速道路株式会社
- ・後 援 国土交通省九州地方整備局、(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部
(公社)日本コンクリート工学会九州支部、(一社)九州橋梁・構造工学研究会

プログラム

13:00～13:05 開会／挨拶： 落合 英俊（九州大学 理事・副学長）

□ 第一部

特別講演：『インフラストックとしての高速道路ネットワーク－関門橋が果たしてきた役割－』

13:05～14:25 大石 久和（（一財）国土技術研究センター 国土政策研究所長）

14:25～15:00 休憩

14:30～14:55 『関門橋リフレッシュ記録2013』上映

□ 第二部

パネルディスカッション：『関門橋、40年の歴史とこれからを考える』

15:00～16:55 コーディネーター 玉川 孝道（元西日本新聞株式会社 副社長）

・アドバイザー
大石 久和（（一財）国土技術研究センター 国土政策研究所長）

・パネリスト
風間 徹（元日本道路公団 東北支社長）
片山 憲一（北九州エアターミナル株式会社 代表取締役社長）
喜安 和秀（国土交通省 九州地方整備局 道路部長）
城水 悦子（株式会社 洋建築計画事務所 代表取締役）
日野 伸一（九州大学 副学長・大学院工学研究院 教授）
廣畑 浩司（西日本高速道路株式会社 九州支社 保全サービス事業部長）

16:55～17:00 閉会／挨拶： 本間 清輔 西日本高速道路株式会社 執行役員・九州支社長

（以上、敬称略）

ポスター・チラシ

■ 第4回「社会インフラの防災と危機管理を考えるPart2」

～災害に強い九州の道を、今できること～

東日本大震災から1年半が経過し地震の概要も明らかになっています。今後想定される大規模地震の再評価がなされ防災への取り組みの強化が求められている中、社会インフラの安全性への関心が高まり、その重要性が見直されています。

また、九州は台風などの風水害や火山噴火などの自然災害が多発しており、その備えも必要です。

道路ネットワークは道路交通システムという本来の役割に加えて災害時の被災地域への緊急車両の通行確保だけでなく地域の防災を担えるものとして再認識されています。

シンポジウムでは東日本大震災や今夏の九州北部豪雨災害とその後の復興・復旧状況を踏まえ、九州の道路を中心とした社会インフラの防災と危機管理について活発な討論を行いました。

|| 概要

- ・日 時 2012年10月17日（水）13：00～17：00
- ・会 場 JR博多シティ9階 JR九州ホール（福岡市博多区博多駅中央街1-1）
- ・主 催 九州大学
- ・共 催 西日本高速道路株式会社
- ・後 援 国土交通省 九州地方整備局、福岡県、福岡市、（社）土木学会西部支部、（社）地盤工学会九州支部、（社）日本コンクリート工学会九州支部、（社）九州橋梁・構造工学研究会

|| プログラム

13：00～13：05 開会／挨拶： 落合 英俊（九州大学 理事・副学長）

□ 第一部

特別講演：『巨大災害にどう向きあうか？～インフラのあり方と災害に対する国民的インフォームド・コンセント～』

13：05～14：20

家田 仁（東京大学大学院 教授）

報告：『平成24年7月梅雨前線豪雨による災害』

14：20～14：40

塚原 浩一（国土交通省 九州地方整備局 企画部長）

14：40～14：55 休憩

□ 第二部

14：55～16：55 パネルディスカッション：『災害に強い九州の道を、今できること』

家田 仁（東京大学大学院 教授）

・コーディネーター

大塚 久哲（九州大学大学院 教授）

・パネリスト

塚原 浩一（国土交通省 九州地方整備局 企画部長）

猪狩 信浩（宮崎県防災士ネットワーク会長 防災士）

大坪 篤史（宮崎県危機管理局次長）

時枝 夏子（日本赤十字九州国際看護大学大学院）

藤本 秀勝（NEXCO西日本 危機管理防災担当部長）

16：55～17：00 閉会

ポスター・チラシ

■ 第3回「社会インフラの防災と危機管理を考える」

～東日本大震災から学ぶ九州の高速道路あの安全性～

2011年3月11日に東日本を直撃したマグニチュード9.0という未曾有の大地震と大津波、それに伴う福島第一原発の放射能漏出事故・・・。

多数の尊い人命とともに、人々の生活そのものが奪いとられました。東日本大震災で受けた人命や経済損失とともに、日本の安全神話の崩壊と政治・社会への信頼失墜はきわめて大きいといえます。

台風や大水害、火山噴火などの自然災害の多発する九州における高速道路などの社会インフラの安全性は大丈夫でしょうか。

この機会に、社会インフラの防災と危機管理について考えてみませんか。

|| 概要

- ・日 時 2011年6月13日（月）13：00～16：40

- ・会 場 JR博多シティ9階 JR九州ホール（福岡市博多区博多駅中央街1-1）
- ・主 催 九州大学
- ・共 催 西日本高速道路（株）
- ・後 援 （社）土木学会西部支部、（社）地盤工学会九州支部、（社）日本コンクリート工学会九州支部、
（社）九州橋梁・構造工学研究会

|| プログラム

13:00～13:05 開会／挨拶：日野 伸一 氏（九州大学大学院工学研究院長）

□ 第1部

特別講演：『西日本における地震防災の在り方』
13:05～14:35 土岐 憲三 氏（立命館大学 教授）

14:35～14:50 休憩

□ 第2部

講演1：「東日本大震災における高速道路の被災状況と対応」
14:50～15:40 川添 卓司 （東日本高速道路(株) 建設事業本部建設部長）

講演2：「NEXCO西日本の防災に対する新たな取り組み」
15:40～15:55 角田 直行 （西日本高速道路(株) 保全サービス事業部長）

講演3：「東日本大震災の教訓」
15:55～16:15 大塚 久哲 （九州大学大学院 教授）

講演4：「地理情報システム（GIS）を活用したのり面防災」
16:15～16:35 三谷 泰浩 （九州大学大学院 准教授）

16:35～16:40 閉会／挨拶：岸 洋正 （西日本高速道路(株) 執行役員技術本部長）

ポスター・チラシ

■ 第2回「未来につなぐ九州の道」

～安心・安全な道路、今できることは？～

どこまでも続く道。
その先には海、山、まちがあり、そして未来の私たちがいる。
明るい未来のために、今、何ができるだろう。

山地部や海岸線の多い九州では、道路は人・モノの流れを活発にし、経済の発展や文化の交流を支えてきました。多くの道路は建設から数十年が経過し、少しずつ痛んできています。道路はこれからもずっと、安全なのでしょうか。
本シンポジウムでは、子供たちに安心・安全で明るい未来を引き継ぐために、今、私たちができることを見つめ直し、インフラ整備・観光・地域づくりなどの観点から道路の維持管理に関する幅広い議論を行いました。

|| 概要

- ・日 時 2010年7月10日(土)13:30～
- ・会 場 イムズホール（福岡市中央区天神1-7-11・11F）
- ・参加費 無料
- ・主 催 九州大学
- ・共 催 西日本高速道路株式会社
- ・後 援 国土交通省九州地方整備局・福岡県・福岡市

|| プログラム

□ 第1部

13:30～ 開会／挨拶：日野 伸一（九州大学大学院 工学研究院長）

基調講演：「高齢化していく道路インフラとの付き合い方」
13:40～15:00 藤野 陽三 （東京大学大学院 教授）

特別講演：「湯布院の活性化のために」
13:40～15:00 桑野 和泉 （由布院温泉「玉の湯」社長）

□ 第2部

15:20～17:00 パネルディスカッション：「未来につなぐ九州の道 ～安心・安全な道路、今できることは？～」

- ・コーディネーター
日野 伸一（前掲）
- ・パネリスト
桑野 和泉（前掲）
藤野 陽三（前掲）
玉川 孝道（㈱西日本新聞会館 社長）
濱砂 圭子（㈱フラウ 社長）
岡本 博（国土交通省 九州地方整備局 局長）
久保 晶紀（西日本高速道路㈱ 九州支社 支社長）

ポスター・チラシ

■ 第1回「100年をつなぐイノベーション」

～安全・安心な九州のハイウェイをめざして～

九州大学とNEXCO西日本の包括連携協定調印を記念して開催。

高度経済成長期に建設された莫大な数の道路構造物を安心・安全、かつ経済的に維持管理するためには、学際的研究に基づいた技術開発が必要とされます。そこで、九州大学と西日本高速道路㈱（略称：NEXCO 西日本）は、組織的な連携協力体制を強化すべく、包括的な連携協力協定を締結しました。

本フォーラムは、技術者と研究者の情報交換の場として、九州の高速道路の歴史、道路構造物の耐震照査法や補強方法、老朽化の現状を踏まえた課題点や高速道路の情報システムなどをテーマとして開催致します。構造物の整備・維持管理に携わる産官学の方々に多数ご参加頂ければ幸いです。

Ⅱ 概要

- ・日 時 2009年12月15日（火） 13:30～17:05
- ・会 場 九州大学西新プラザ 大会議室（福岡市早良区西新2-16-23）

Ⅱ プログラム

開会挨拶：九州大学とNEXCO 西日本の連携協定について	
13:30～13:45	日野伸一（九州大学大学院工学研究院長）
九州の高速道路の歴史とその技術的課題	
13:45～14:30	久保晶紀（NEXCO 西日本 九州支社長）
NEXCO における新技術開発の現状と課題	
14:30～15:15	角 昌隆（NEXCO 西日本 技術部長）
15:15～15:30	休憩
ねじりを受けるRC 部材の耐震照査法と補強方法	
15:30～16:00	大塚久哲（九州大学大学院工学研究院 教授）
鋼道路橋の腐食損傷の現状と防食における課題	
16:00～16:30	長沼重信（九州大学大学院工学研究院 准教授）
GIS の高度利活用をめざす高速道路情報システムの提案	
16:30～17:00	江崎哲郎（九州大学大学院工学研究院 教授）
閉会挨拶	
17:00～17:05	川上一志（NEXCO 西日本 九州支社 副支社長）

ポスター・チラシ



九州大学 ×



産学連携技術シンポジウム

ホーム

技術シンポジウム

道路工学実践教室

特別講義

共同研究

交流

第8回技術シンポジウムを開催します。

「はじまる・ひろがる・めぐる・九州の高速道路・新時代」

九州初の高速道路として榑木IC～熊本IC間が昭和46年に開通してから45年が経過しました。今年4月には、東九州道の惟田南IC～豊前IC間が開通し、九州の高速道路は延長約1,095kmと、さらにネットワークが広がりました。また、1日あたり約75万台が利用し、九州の社会・経済活動の一端を支えています。

平成28年熊本地震では、九州道と大分道の被災により高速道路ネットワークが途切れ、緊急物資輸送などに影響を与えました。改めて高速道路は現代社会に欠かすことのできない社会基盤であることを実感しました。

本シンポジウムでは、このように人・モノの交流を支える高速道路に期待される役割や将来の姿について考えます。

概要

- ・日時 平成28年10月28日(金) 13:30-17:00
- ・場所 天神イムズ 9F イムズホール (福岡市中央区天神1-7-11)
- ・主催 九州大学
- ・共催 西日本高速道路株式会社
- ・後援 国土交通省 九州地方整備局、(公社)土木学会西部支部
(公社)地盤工学会九州支部、(一社)九州橋梁・構造工学研究会
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
- ・参加費 無料
- ・定員 400名
- ・土木学会 継続教育(CPD)プログラム認定: 3.0単位

プログラム

開会/挨拶	
13:30~13:35	日野伸一 (九州大学 副学長・大学院 工学研究院 教授)
講演1『物流の歴史的変遷と、これからの課題—ロジスティクスを支えるインフラの役割—』	
13:35~14:35	苦瀬博仁 (流通経済大学 流通情報学部 教授)
講演2『 』	
14:35~15:05	高橋誠 (一般社団法人 九州観光推進機構 専務理事 事業本部長)
15:05~15:25 休憩	
講演3『 』	
15:25~16:25	塚原健一 (九州大学大学院 工学研究院附属アジア防災研究センター 教授)
講演4『 』	
16:25~16:55	北田正彦 (西日本高速道路㈱ 執行役員・九州支社長)
閉会/挨拶	
16:55~17:00	竹園一也 (西日本高速道路㈱ 技術本部・技術環境部長)

(敬称略)

[申し込みフォーム](#)



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



あち、ひそいー 新橋へ。
NEXCO
西日本

産学連携技術シンポジウム

| ホーム |

技術シンポジウム |

道路工学実践教室 |

特別講義 |

共同研究 |

交流 |

シンポジウム参加申し込み

Contents

参加者氏名

会社名(所属先)

部署

役職

電話番号

090-1234-5678

FAX

メールアドレス

当シンポジウムをどこで知りましたか？(複数回答可)

アンケート

- ☐ 九大HP ☐ NEXCO Facebook ☐ 土木学会 Facebook
☐ 社内回覧 ☐ ポスター・チラシ ☐ 壬子会メール
☐ Qdai-mail ☐ 九大学研都市メルマガ ☐ 知人の紹介
☐ その他

確認画面へ



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



NEXCO
西日本

産学連携技術シンポジウム

ホーム

技術シンポジウム

道路工学実践教室

特別講義

共同研究

交流

道路工学実践教室

Contents

> 平成27年度開催内容 テーマ：
土工

学生に高速道路の建設・保全の現場を提供し、土木（道路）工学の実践的な技術体験を通じ大学等の教育拡充に寄与すると同時に、NEXCO西日本業務の理解促進ならびに各大学との技術交流を図るために、平成12年度より開設しています。近年は、よりNEXCO西日本の実務に近いものとして、橋梁、舗装、土工のり面をテーマとして開催しています。

■ 平成27年度開催内容 テーマ：土工

区分	実施日	テーマ名
事前講義	4月17日（金）	NEXCO西日本の事業概要、執務室見学 社員との懇談会
自主研修研究	4月～7月	大学での講義や自主研究 土工基礎知識に関する講義
集中講義	8月4日（火）～8月6日（木）	のり面安定計算実習 のり面補修計画立案 のり面点検の実習
発表会	8月7日（金）	自主研究の成果発表会





九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



NEXCO
西日本

産学連携技術シンポジウム

ホーム

技術シンポジウム

道路工学実践教室

特別講義

共同研究

交流

特別講義

Contents

> 平成27年度

連携推進教授やNEXCO西日本から有識者を招聘し、高速道路の建設・維持管理、今後の動向等についての講演を行います。学生に業界の現状を知ってもらい、学んでもらう、そして、自分の将来を考えてもらうことを目的に開催しています。

平成27年度

平成27年度は、NEXCO西日本 九州支社 保全サービス事業部長 福永靖雄氏にご講演いただきました。

日本の物流を支える高速道路 ～道路を支える技術～

全国的高速道路は、名神高速道路が今年で全通50年を迎えたのを代表に、年々経過年数が増加してきており、高速道路の経年劣化に関するリスクの高まりが懸念されてきています。

また、高速道路は、日本の道路、鉄道のわずか1%に過ぎませんが、国内陸上貨物輸送量（トンキロ）における高速道路の比率は、約50%であり国内輸送の大動脈となっています。

高速道路の機能を維持し守るためには、土木全般や他分野の技術が使われていることを紹介し、「土木技術者として必要なこと」をお話します。





九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



あち、ひこ、いっ、きょうへ。
NEXCO
西日本

産学連携技術シンポジウム

ホーム

技術シンポジウム

道路工学実践教室

特別講義

共同研究

交流

共同研究

Contents

教員名	所属・職名	研究題目
日野伸一	社会基盤部門 教授	あと施工アンカーの性能評価に関する研究
三谷 泰浩	附属アジア防災研究センター 教授	道路構造物管理におけるモニタリング手法の検討に関する共同研究
陳 光斉	基幹教育院 自然科学実験系部門 教授	のり面対策の有効性に関する数値解析的研究
田中敏二	応用化学部門 教授	ウルトラファインバブル水の界面特性に関する研究
貝沼 重信	社会基盤部門 順教授	鋼構造物の防食技術に関する研究
笠間清伸	附属アジア防災研究センター 准教授	のり面の安定解析に関する研究



| ホーム

| 技術シンポジウム

| 道路工学実践教室

| 特別講義

| 共同研究

| 交流

交流

Contents



九州大学教職員限定



産学連携委員限定

© 2016 共同技術シンポジウム